

令和5年度 障害者スポーツ推進プロジェクト
(障害者スポーツの実施環境の整備等に向けたモデル創出事業)

事業成果報告書

令和6年3月9日

株式会社NHKエンタープライズ

令和5年度 障害者スポーツ推進プロジェクト
(障害者スポーツの実施環境の整備等に向けたモデル創出事業)
事業成果報告書

1. 事業の実施期間

令和5年7月25日から令和6年3月10日まで

2. 事業趣旨

共生社会の学びの場として「小学生ボッチャ競技会」を実施します。インクルーシブな競技会とするため、参加チームは通常学級に在籍する児童と特別支援学校または特別支援学級に在籍する児童により編成します。障害がある児童とない児童が、同じ目標に向かって力を合わせ支えあう競技会です。

本競技会の計画に当たっては、日本ボッチャ協会、東京都生活文化スポーツ局、東京都教育庁、全国特別支援学校校長会、東京都特別支援学校校長会、全国特別支援学級・通級指導教室設置校長協会、東京都特別支援学級・通級指導教室設置校長協会のご助言をもとに進めてきており、みなさまよりご理解とご協力をいただいております。

東京2020パラリンピックを機に、教育現場ではパラスポーツの体験やパラアスリートとの交流会など様々な取り組みが行われ、ボッチャ体験も23区内の小学校の48%（小学校のHPなどの情報を集計）で実施されています。しかし、そうした体験は残念ながら一過性のものに終わっているケースがほとんどです。小学生が参加するボッチャ競技会が実施されることは、ボッチャにより真剣に取り組むモチベーションとなると考えます。そして競技会が発展継続されれば、子どもたちにとって貴重な学びの場が広がり、これからの未来をつくっていく世代に大きな教育的効果をもたらすはずです。

3. 事業の実施体制

(1) 本事業の実施体制



(2) 本事業の実施スキーム

(主催) 株式会社 NHK エンタープライズ、株式会社 NHK アート、
社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団

(協力) 一般社団法人日本ボッチャ協会

(後援) 東京都、渋谷区、NHK、東京都立特別支援学校長会、
東京都特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会

(特別協賛) 湖山医療福祉グループ、東日本旅客鉄道株式会社

(協賛) アポワテック株式会社、株式会社バンダイ、三菱電機株式会社 (50 音順)

4. 事業の内容

(1) 事業のテーマ

地域の課題に対応した障害者に対するスポーツの振興、実施環境の整備

(2) 実行委員会

【競技会の実施】

株式会社 NHK エンタープライズ

株式会社 NHK アート

社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団

【実施計画への助言・協力、実施結果の評価】

一般社団法人日本ボッチャ協会

東京都生活文化スポーツ局

パラリンピアン 葭原 滋男 (よしはら・しげお) 氏

(3) 事業の実施内容

■事業概要：

【名称】小学生ボッチャ競技会～2023 東京大会～

【主催】株式会社 NHK エンタープライズ、株式会社 NHK アート、社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団

【協力】一般社団法人日本ボッチャ協会

【後援】東京都、渋谷区、NHK、東京都立特別支援学校長会、東京都特別支援学級・通級指導教室設置
学校長協会

【特別協賛】湖山医療福祉グループ、東日本旅客鉄道株式会社 (50 音順)

【協賛】株式会社アポワテック、株式会社バンダイ、三菱電機株式会社 (50 音順)

【放送】2023 年 10 月 21 日 (土) 午後 3 時～4 時 E テレ

■募集方法：参加チームは公募。特別支援学校、特別支援設置校の校長会などを通じて、特別支援学校、特別支援学級設置校に周知したほか、東京都教育庁特別支援教育指導課より各自治体の教育委員会への周知、東京都生活文化スポーツ局より各自治体のパラスポーツ推進課へ周知を行った。また、NHK 厚生文化事業団の HP にて公式ホームページを立ち上げ、実施概要の周知と募集窓口としてのプラットフォームとして活用。

■参加チーム編成：

通常の学級に在籍する児童と、特別支援学級または特別支援学校に在籍する児童による合同

チームとし、特別支援学級または特別支援学校に在籍する児童を2名以上含むことを原則とします。

■予選と本戦

・予選：東京都を3つのブロックに分けて特別支援学校にて実施。

【Aブロック】千代田区、中央区、港区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、北区、荒川区、足立区、葛飾区、江戸川区、大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、小笠原村

【Bブロック】新宿区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、板橋区、練馬区

【Cブロック】八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町

・8月26日（土）【江戸川区：Aブロック予選】

東京都立鹿本学園 東京都江戸川区本一色2-24

・8月27日（日）【世田谷区：Bブロック予選】

東京都立光明学園 東京都世田谷区松原6-38-27

・8月20日（日）【多摩市：Cブロック予選】

東京都立多摩桜の丘学園 東京都多摩市聖ヶ丘1-17-1

・本戦：各ブロック優勝、準優勝チームが出場

9月18日（月・祝） 渋谷区スポーツセンター（渋谷区西原1-40-18）

5. 事業の成果

（1）評価指標および目標

評価指標：実施後に参加チームにアンケートを行い、今競技会における教育効果を測定。実行委員会のメンバーによる評価と合わせた総合的評価を行う。

目標：予選に参加申し込み60チーム以上、本戦6チームを目指す

（2）結果と考察

・参加チーム数

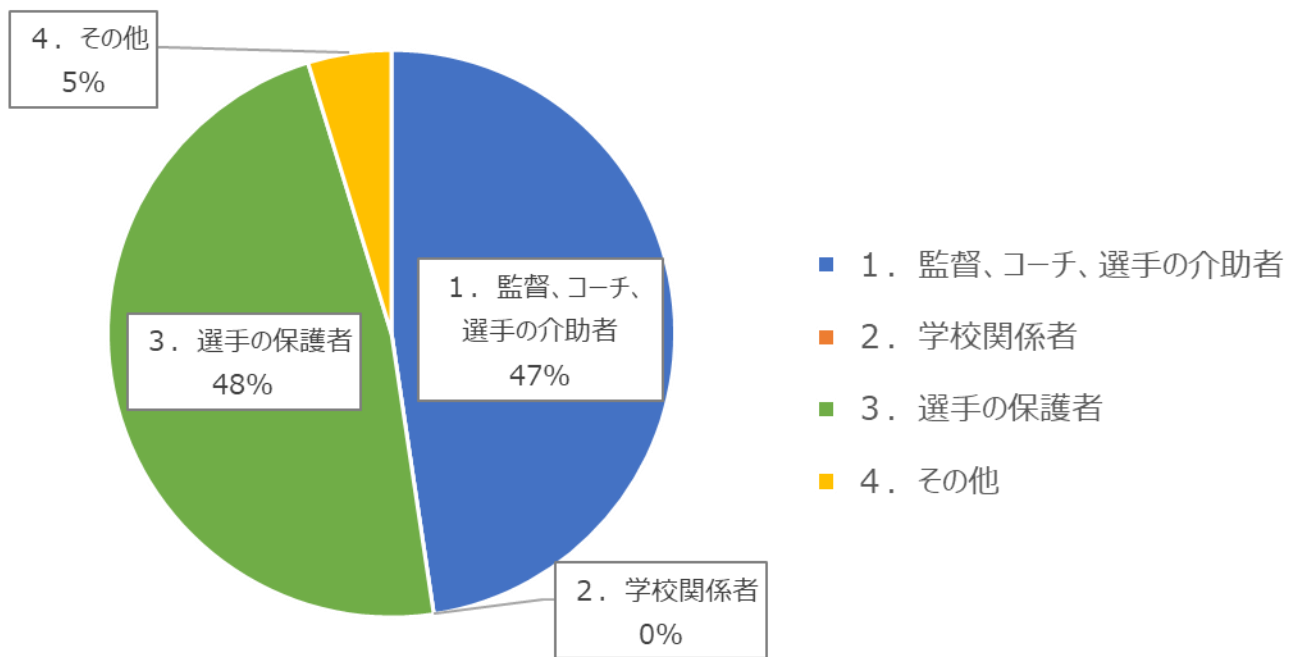
参加17チーム、参加選手89名（うち40名が特別支援学級・特別支援学校の児童）募集期間が短かったことも影響し、また通常の学級と特別支援学級のインクルーシブなチーム編成にも時間がかかったため、予選参加チーム数は目標に達することができなかった。次年度は募集期間の前に「告知時期」を設け、チーム編成に十分な期間を与えられるスケジュールで実施したい。

・参加チームへのアンケート

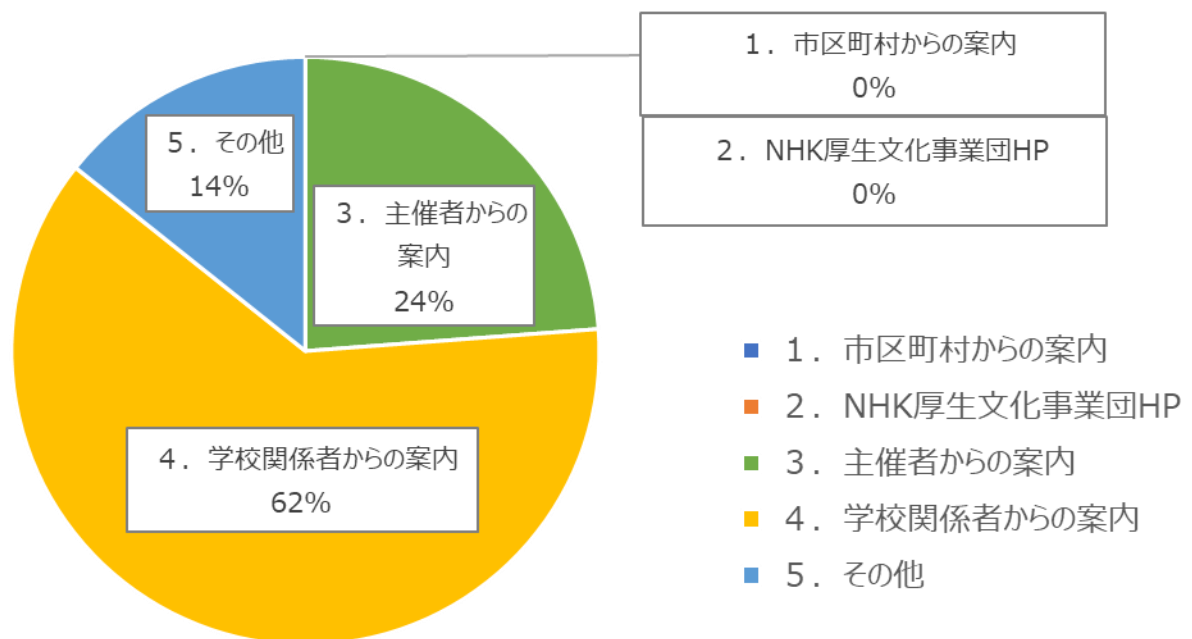
参加チームの監督と保護者に実施。

【アンケート結果】

■ 今回の競技会におけるあなたの立場を教えてください(n=21)



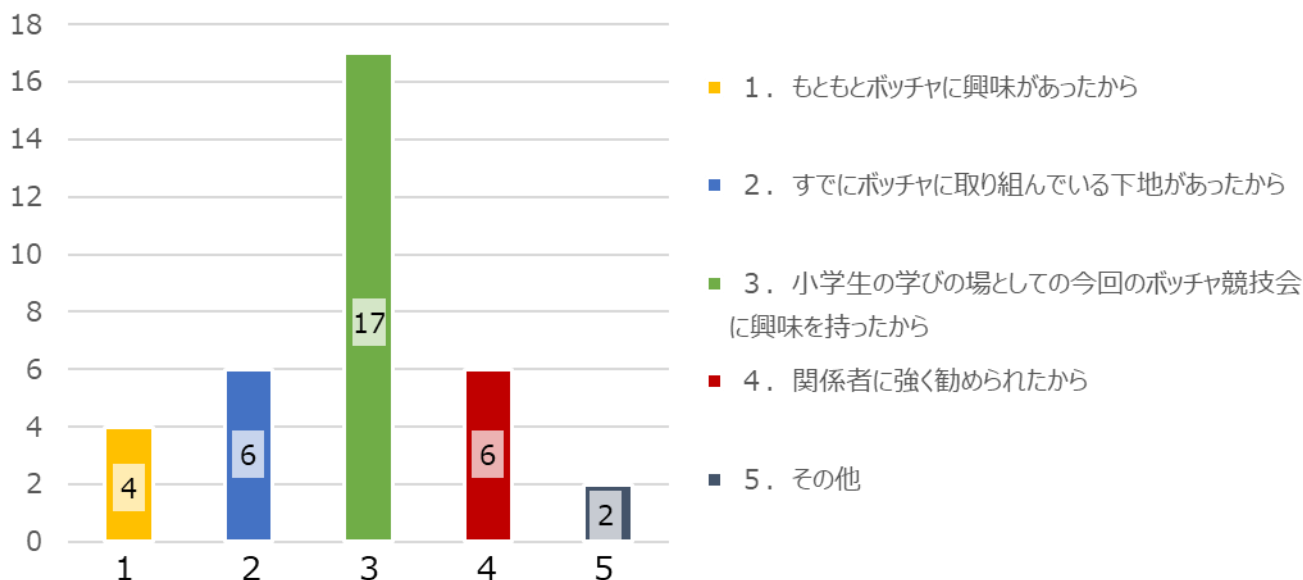
Q1. 今回の競技会を知ったきっかけを教えてください。(n=21)



■ その他を選んだ方は内容をご記入ください。

- 監督よりお声がけいただきました。なお、介助者であり、保護者です。
- 監督さんから声をかけて頂きました。
- お友達に誘われた

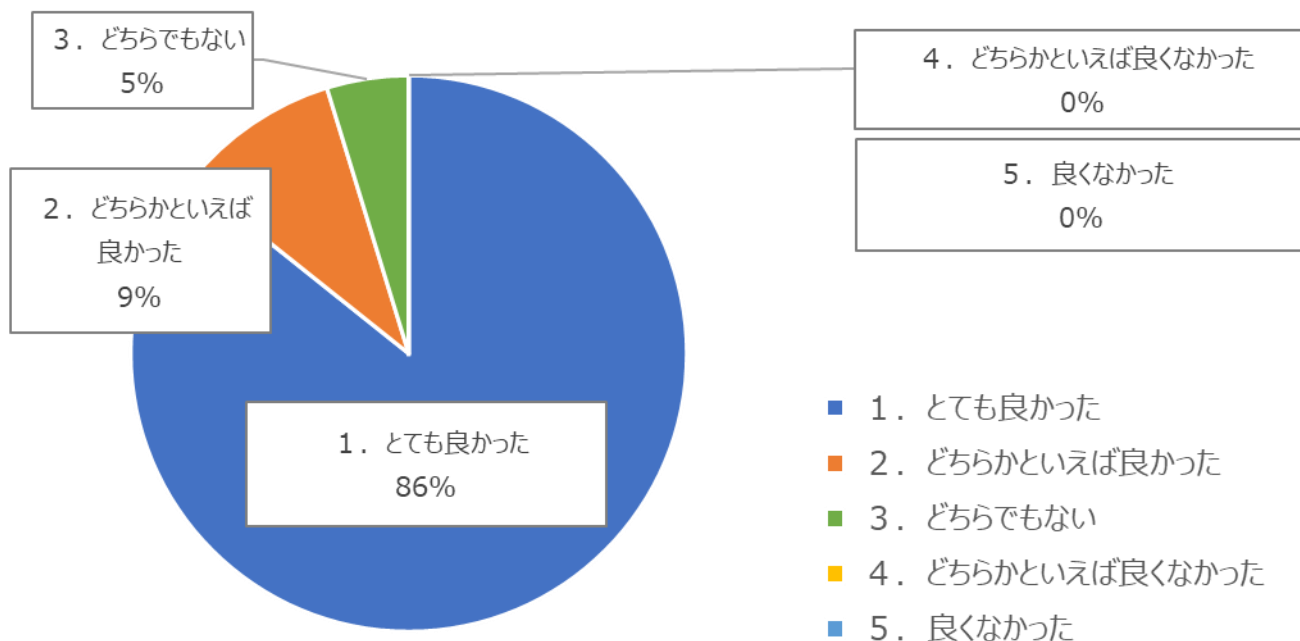
Q2. 今回の競技会に参加した理由を教えてください（複数選択可 /n=35）



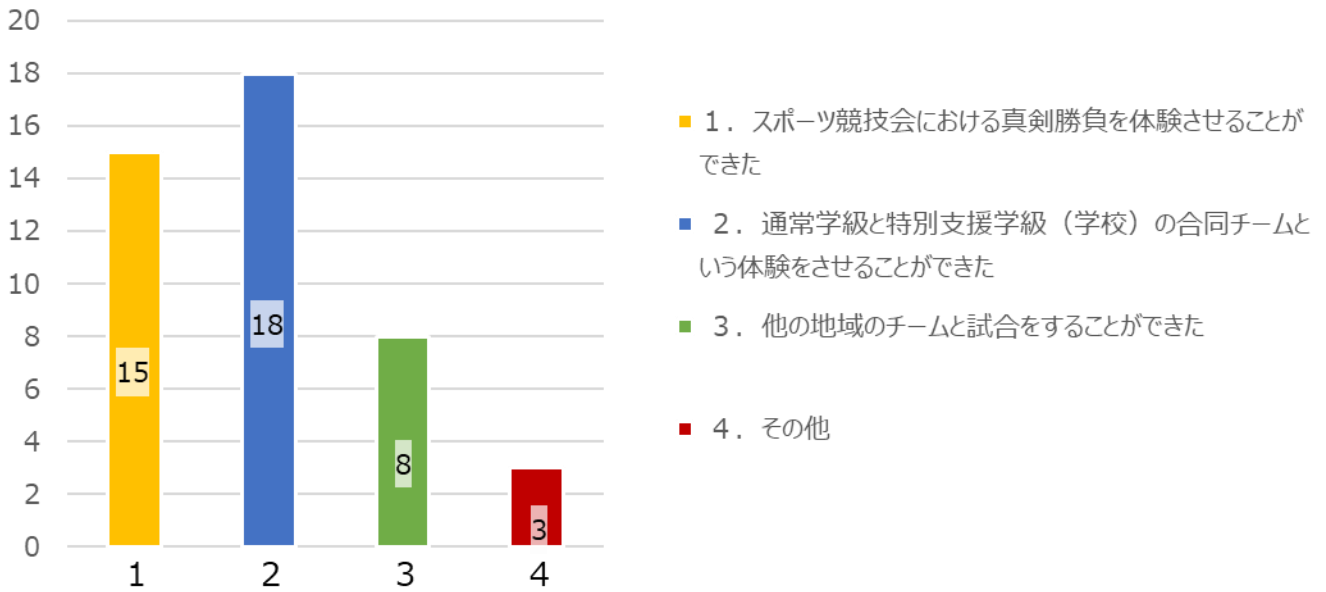
■その他を選んだ方は内容をご記入ください。

- 車椅子で参加できる競技、また医療的ケアがあってもできる競技は限られてくるため、チャンス場所には積極的に参加したいと思ったため。
- 娘に中等度難聴があり、未就学児の時に都立城南特別支援学校内にある大塚ろう学校の分校に通っていました。現在は、大田区のきこえの教室に通っています。そんな中、都立光明学園さんと一緒にさせて頂ける機会を頂き、またちょうど今年の夏からポッチャに興味を持ち、色々なイベントに参加していた事から、強い縁を感じ参加に至りました。ポッチャは、老若男女、障がいがあってもできるスポーツとして、色々な方が一緒にぶれーできるとても素晴らしいスポーツだと思います。そんな世界に娘を飛び込ませたく、また本人も希望してくれた。

Q3. 今回の競技会はいかがでしたか？ (n=21)



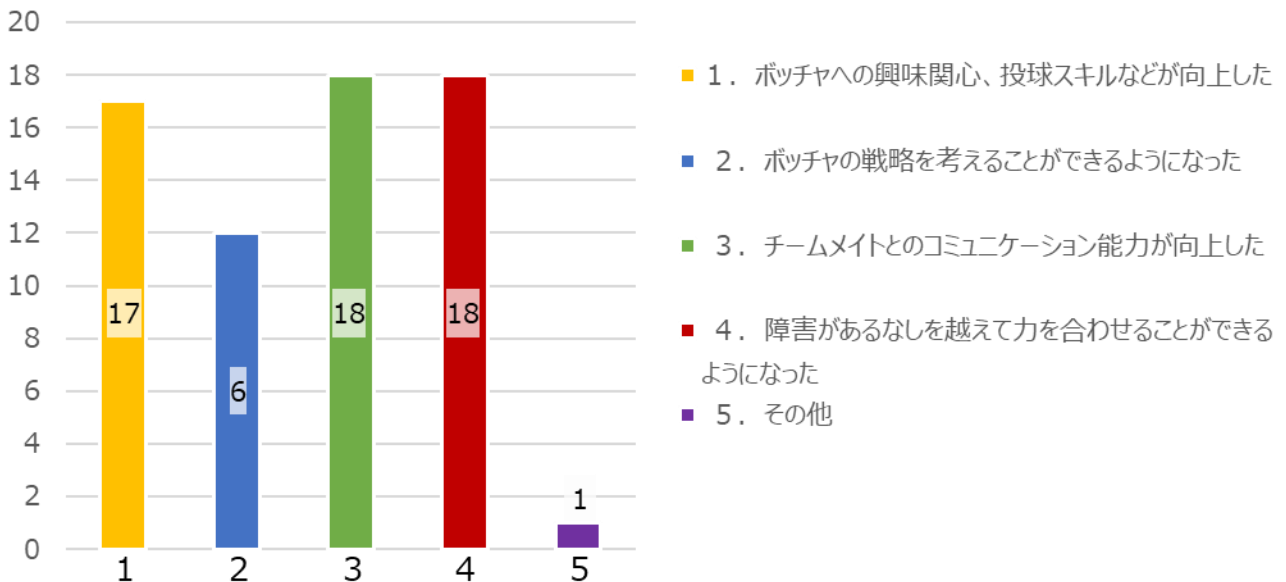
Q4. 今回の競技会で良かった点を教えてください。(複数選択可 /n=44)



■ Qその他を選んだ方は内容をご記入ください。

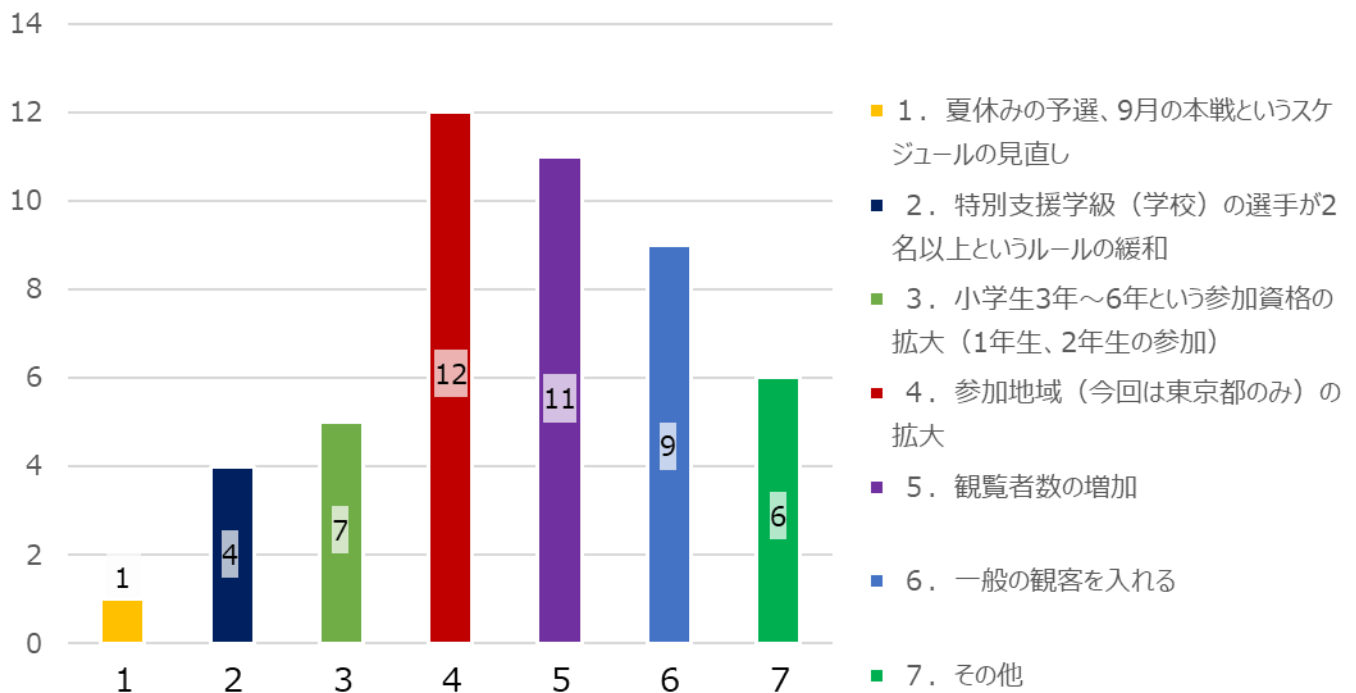
- 全国放送されるとの事で、遠方にいる祖父母に元気な姿を見てもらえる事
- 会場スタッフさんが明るく一生懸命で、とてもいい雰囲気試合だったと思う。選手が競技に集中できる環境だった。
- 普段学校での枠組みで生活している児童の活動範囲や経験を広げることができました。

Q5. 今回の競技会を通じて選手が学んだと思う点を教えてください(複数選択可 /n=44)



■ Qその他を選んだ方は内容をご記入ください。

- 選手と支える大人(?チーム内だけでなく、会場スタッフさんなど)の姿を見せることができたため。スポーツはたくさんの方のバックアップで成り立っていることを理解できたと思う。



■ Qその他を選んだ方は内容をご記入ください。

- 特に要望はありません。
- 選手の入替え（補欠）を取り入れてほしい。
- 私が参加させて頂いた観戦席は席が半分も埋まっておらず寂しかったので、席に余裕があるのが事前に解っていたら他の人も誘ってもっと盛り上げたかったなと思いました。ポッチャの応援は初めてで、大声で声援を送っていいのか、静かに見守るべきなのかも解らず、本心ではもっと声援を送りたかったけど周りに合わせて静かに見守りました。事前に観戦の仕方を案内して頂けると良いかと思いました。
- （ブロック予選の予選において）しっかりとジャッジができる方に審判をしていただきたいです。試合中ミスジャッジが複数回ありました。そのことを言ってもわかっていないようでしたし開き直った態度でした。みんな真剣に取り組んでいるので、そのような態度の方には審判をやっていただきたくないです。
- 試合中に監督が選手に指示することはポッチャのルールでは禁止されています。監督が狙うなという指示で選手がボールを雑に投げる姿は、本来のポッチャではないです。教育者である学校の監督、コーチのポッチャの理解が深まれば、と願います。

・「今回の競技会を通じて選手が学んだと思う点を教えてください」という質問で答えが多かったのが「チームメイトとのコミュニケーション能力が向上した」と、「障害があるなしを超えて力をあわせることができるようになった」だった。共生社会の学びの場としてスタートさせた小学生ポッチャ競技会が、単なるかけごえやスローガンとしての「共生社会」ではなく、実際に学校という社会に変化をもたらしているといえる。

・実行委員会メンバーの評価でも、「通常の学級と特別学級のチーム編成」が課題ではあったが、今回の競技会での肝であった。ボッチャは選手同士のコミュニケーションが勝利への鍵となるが、どのチームも仲間同士でしっかりとコミュニケーションをとっていた。勝利という目標を共有し、チームとしてどのように戦うか、障害のあるなしを越えて話し合い、支え合う姿が見られ、本来の目標であったインクルーシブな競技会は実現できたというコメントもいただいた。

6. 今後の事業展開予定

(1) 事業継続や横展開に向けたポイント、課題

- ・協賛企業（協賛金）の増加。
- ・参加チーム増加のための広報を含めた施策。

取組方針：今年度の実施については、協賛営業が出遅れたこともあり、十分な成果を達成出来なかったが、次年度以降は早めの協賛営業を実施し、より多くのパートナー企業、団体を獲得する。競技会の趣旨には賛同いただいたものの時期的な問題で今回の協賛を見送られた企業も多くあるため、来年度以降の協賛の充実は見込めると考える。

(2) 次年度以降の事業継続、横展開の計画

- ・継続性のある事業収支の確立。
- ・適切な告知、募集時期を設ける。
- ・2024年度は引き続き都内で予選3回、本戦1回として実施するが、東京都以外から参加チームを招待する。今後は参加地域を次第に拡大し、やがては全国へと広げたい。

参考資料等

- ・【報告書】小学生ボッチャ協議会2023（PDF）